

昭和37年学部卒業 太田 一忠



精密科学会の卒業生合同懇親会に参加して

幹事の広瀬さんからお誘いのメールを頂いてすぐに参加を決め返信しました。と云うのも今回の明日香の案内役が同期の都司さんであり、彼とは前々回の同期会以来4年間会えていなかったからです。というのも2年前の前回の同期会は私が幹事長で準備を進めていましたが、本番直前にレベル4の舌癌が見つかり手術のため出席できず、不義理を果たしていました。またその大病以来、残りの人生の短さを自覚し、生きている間に今まで関係してきた人達ともう一度充実した時間をすごしたいと思って「これ以後の同窓会とOB会には全部出席する」と家族に宣言していたからでもあります。さて懇親会当日は少し暑い好天で雨の心配



もなく、10時20分に近鉄橿原神宮駅前で大阪からの貸し切りバスに乗車しました。バスの中で配られた資料によれば都司さんと私が参加者の中で最も古い卒業年次であることを知って歳を感じました。また案内のメールを送った700名ほどの中で出席者が21名になり、これがちょうどバスの定員とピッタリ一致したとの幹事さんの説明で、宝くじ並みの確率?と感心し、楽しい話題になりました。明日香村散策はまず本薬師寺に行き、寺の周りの田んぼに植えられた満開の「ほてい葵」の群生を多くの観光客に交じって見物した後、その足で飛鳥資料館まで歩きました。資料館では都司さんの丁寧な案内で古代の歴史を学びました。昼食は食事処「めんどや」で珍しい鶏の牛乳鍋がでて、ビールを飲みながら楽しく



懇談しました。



昼食後に犬養万葉記念館を訪問し、ここでは学生時代に犬養先生の講義を受けた世代から当時の思い出話が出て盛り上がりしました。最後は独特の犬養節で短歌を歌って館を後にしました。

その後石舞台で記念撮影、キトラ古墳でも都司さんの詳しい説明を聴き、この日の懇親会を終了しました。私は2次会のカラオケにも参加しましたが、各世代で持ち歌が全く異なり、時代を感じ合えたのが大変面白く感じました。今回初企画の合同懇親会に参加して、幹事の周到な事前の準備のお蔭で、楽しい一時を過ごせ大変良かったです。



しかし欲を言えばもう少し世代間の交流ができれば更に良かったと思います。同期以外の参加者とは初対面であり、卒業後今日まで何をしてきて今何をしているのかを知ればさらに話が弾んだと思いますので、次回の企画に期待します。

以上

